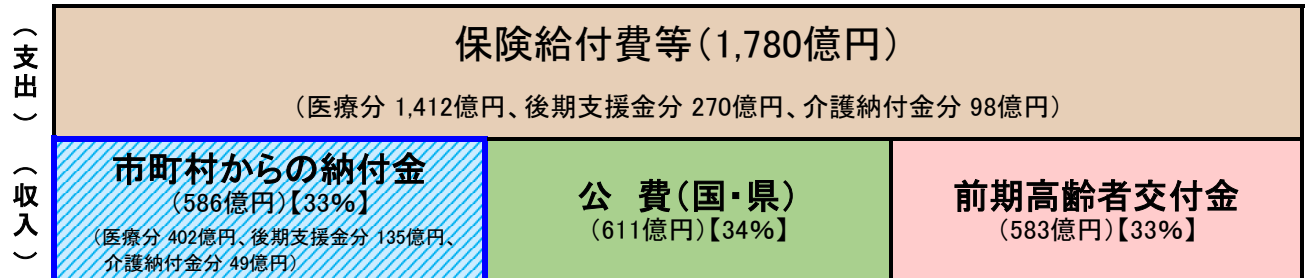


国民健康保険事業費納付金の算定と保険税の賦課徴収(イメージ)

<県>

- ① 保険給付費の実績や国の係数により、県全体の保険給付費等を推計
国の係数により、公費及び前期高齢者交付金を算定し、市町村から徴収する納付金総額を算定

※ ()内の金額は、算定値



- ② 県と市町村で協議してきた方法により、納付金総額を各市町村に割り振る

【群馬県の算定方法】

- (1) 各市町村の県全体に占める割合に応じて割り振る。

- ① 約50%: 所得割 (所得水準に応じて負担) → ※全国と比較した群馬県の所得水準で調整
- ② 約35%: 均等割 (被保険者の数に応じて負担)
- ③ 約15%: 平等割 (世帯の数に応じて負担)

- (2) 各市町村の医療費水準に応じて増額又は減額調整する。

医療費が高い市町村の負担は多く、医療費が低い市町村の負担は少なくなるよう調整

(※ 調整の幅は、H31年度以降は保険料水準の統一に向けて徐々に縮小していく)

- ③ 更に、国保制度改革により負担が上昇してしまう市町村に、激変緩和措置を実施 (約8億円)
(※ 激変緩和措置の幅は、H31年度以降、徐々に縮小していく)

<市町村>

- ④ 各市町村では、県への納付金と保健事業等の費用を、公費のほか、被保険者から徴収する保険税で賄う (※ただし、法定外の繰入金等で保険税を引き下げている市町村あり)

※ ()内の金額は、35市町村の合計

